

# 富士川町

# 第45号

令和3年(2021年)7月25日発行



# 議会だより



## 森の再生

～県民緑化まつりで植樹～  
(平林区)

### 6月の定例会

- 6月定例会で決まったこと…………… 2P
- 議員活動報告…………… 4P
- 6人が町の課題を問う…………… 5P

富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会



# 6月定例会 で決まったこと

令和3年第2回定例会を6月4日から11日まで8日間の会期で開催し、報告案8件、専決処分案7件、条例制定案1件、条例改正案6件、補正予算案5件、契約締結案1件、選挙管理委員会の選挙、人事案8件を全会一致で承認、可決、同意した。

## 道の駅から中山間地域まで幅広い地域振興施策に補正

**一般会計補正予算 6億6127万円**  
**補正後の予算総額 100億7133万円**

おもな一般会計補正予算

・旧第3保育所解体工事	3027万円
・ふたり親低所得子育て世帯生活支援特別給付金事業	2283万円
・農業体験宿泊施設建設事業	8288万円
・道の駅富士川農産物加工所建設事業	2億1486万円
・道の駅富士川農産物加工販売施設増築事業	1億3637万円
・十谷大型バス駐車場整備工事	8414万円
・町営住宅解体及び町有住宅室内改修事業	415万円
・光ファイバーケーブル復旧工事	228万円



解体される旧第3保育所



解体される長澤新町団地

### 人事

(敬称略)

#### ●選挙管理委員会委員

**新任** 笠井 修 (五開区)

#### ●選挙管理委員会補充員

**新任** 岡崎 紀子 (大柵区)

#### ●教育委員会委員

**再任** 秋山 悦彦 (鰻沢南区)

#### ●カラマツオ外三十山恩賜林 保護財産区管理委員会委員

**再任** 望月 留幸 (五開区)

**再任** 深澤 平 (五開区)

**再任** 樋口 吉彦 (五開区)

**再任** 川口 幸人 (五開区)

**新任** 望月 慎太郎 (五開区)

**新任** 依田 利太郎 (五開区)

**新任** 堀口 進 (五開区)

# 条例制定1議案・条例改正6議案を可決した。

## 条例制定

### ● 富士川町立図書館条例の制定

- 町立図書館の設置に関し、必要な事項を定める条例。

## 条例改正

### ● 国民健康保険税条例の一部改正

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税を減額または免除することに伴う改正。

### ● 国民健康保険条例の一部改正

- 新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴う改正。

### ● 介護保険条例の一部改正

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した被保険者に係る介護保険料を引き続き減額または免除することに伴う改正。

### ● 社会体育施設条例の一部改正

- 富士川町トレーニング室の使用時間を拡大することにより、町民の利便性向上を図るための改正。



24時間営業となるトレーニング室

### ● 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める一部改正

- 特定教育・保健施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正する内閣府令の施行に伴う改正。

### ● 政治倫理条例の一部改正

- 町長、副町長及び教育長が、町民全体の奉仕者として人格と倫理の向上に努め、より一層の清潔かつ公正で開かれた民主的な町政の発展を図るための改正。

## 報告

# 主な質疑

## 補正予算

**問** 一般会計繰越明許費に経営体育成基盤整備事業費が計上されているが整備箇所は。

**答** 鵜沢地内の土祿ほ場整備3工区の区画整備工事および農道4号工事における湧水対策箇所。

### ◎ 株式会社富士川(道の駅)の経営状況

**問** 令和3年度の来店者数、総売上高、当期利益率見込みの根拠は。

**答** 元年度の来店者数と売上高に1.02%をかけて、来店者数41万人、総売上高5億5千万円、当期純利益3千万円以上を確保したいと計画した。

**問** 小麦まんじゅうやねじり菓子のブランド化・販路拡大計画は。

**答** 販売力のあるサービスエリアや道の駅売店などに、常設販売の売り込みをしていきたい。

**問** 西小校舎解体費と第3保育所解体工事費の差は。

**答** 双方とも設計業者の見積額である。西小は木造、第3保育所は鉄筋コンクリート造であり、処理方法などの違いがあるため。

**問** 農業体験宿泊施設の備品購入費75万円の内容は。

**答** テーブルや椅子などの什器、冷蔵庫・掃除機・電子レンジなどを用意する。寝具についてはリースを考えている。

**問** 改修される鵜沢町有住宅4室の入居者は。

**答** 県立農業大学校に新設される森林学科学学生の希望者を優先し、希望者が満たない場合は、一般公募する。

**問** 光ケーブル復旧工事内容は。

**答** 復旧箇所は、県道十谷鬼島線十谷地内の約650m区間で、小動物による破損が出ている状況。かじられても破損しないようアルミを巻いたケーブルに改修していく。

# 議 会 活 動 報 告

## 新型コロナウイルス感染症対策連絡会議

議会では会議を随時開催し、町に対する質問事項などを取りまとめている。今回は、ワクチン接種に関して質問および要望を行った。

### ワクチン接種に関する質問・要望の主な内容

**問** 自ら接種予約することが困難な方へ配慮は。

**答** 要介護者には介護支援専門員が予約対応や個別確認を行っている。

**問** 予約案内通知が、高齢者が理解しにくいので改善できないか。

**答** 国からの指定で変更できないものもあるが、町からの案内は、分かりやすい内容で検討する。また、電話案内も丁寧な対応に努める。

**問** 視覚・聴覚障害などの方への情報提供や接種会場での対応は。

**答** ガイドヘルパーなどの、日常生活支援サービスをすでに実施している。

**問** 地域のかかりつけ医などで個別接種ができないか。

**答** 現在は、峡南医療センターと医師会の協力のもと、集団接種を行っている。今後も、医師会と協議し、検討していく。



## 新たな中学校整備検討 特別委員会

＝より良い学校教育環境整備を＝  
教育委員会に提言書を提出!!

ひとつくり常任委員会では、保育所・小中学校の保護者へ意見聴取を行い、集約結果を参考に提言事項を取りまとめた。

特別委員会で協議した結果、「新たな中学校開設に向けて」「これからの富士川町教育について」、提言書を教育長に提出した。

教育委員会からは、提言内容を教育行政の参考とするとともに、今後の検討資料として活用するとの回答があった。

※保護者からの意見集約結果と提言事項は、町ホームページ議会欄に掲載

## 議会改革特別委員会

議会では、議員定数や休日議会の在り方など協議し、議会改革を進めている。

### ◎ 議員定数

議員の質の向上を図り、委員会の在り方を検討する中、現状定数の14人または1人減の13人に削減する案で協議を行い、12月定例会までに結論を出す。

### ◎ 休日議会

議会改革で、CATV放送やYouTube配信を実施し、多くの方に視聴が可能となったため、休日議会は見直すことで検討を行っている。



成田 守 議員

# 問 狭あい道路地域の安全安心は

# 答 狭あい道路の解消に努める

**問** 狭あい道路の拡幅は。土木整備課長 狭あい道路に面した土地に建物を建築する際、建築基準法に基づき、敷地をセットバックした用地を道路敷として寄附していただき、その部分の舗装などを町が行う「富士川町狭あい道路拡幅整備事業実施要綱」を策定し狭あい道路の解消を進めている。狭あい道路の拡幅を必要とする地域の要望や、道路に隣接する地権者の意向を確認しながら、狭あい道路の解消に努める。

**問** 狭あい道路地域の緊急時対応は。防災交通課長 狭あい道路の奥地での火災や救急活動時には、緊急車両が現場まで進入できない可能性がある。峡南消防本部においては、ホースをつなげた状態で収納できるリヤカーのような形をした「ホースカー」の利用や、隊員自らがホースを運搬し広げる手びるめによる消火活動を行っている。救急時には「ストレッチャー」、「担架」、隊員

**問** 今後の改善策は。土木整備課長 狭あい道路の

が抱え「徒手搬送」により救急活動を行っている。消防団においては、持ち運ぶことのできる可搬式ポンプを使用した消火活動や、団員が手びるめによる消火活動を行っている。拡幅は、建物の移転、地権者の協力が必要であり、事業計画が立てられない状況がある。地域の要望または、地権者のご協力があれば計画を立て、事業の実施もやぶさかではないと考えているが、なかなか計画に至らないのが現状である。



望まれる狭あい道路の解消

## 議会の放映をご覧ください

定例会の議長あいさつ、町長所信表明および一般質問の様子は定例会開催月の下旬から富士川CATV(11ch)でご覧いただけます。

日程は、富士川CATV番組内の「富士川町からのお知らせ」および町のホームページをご覧ください。なお、放映終了後に町のホームページにおいても視聴することができます。



### ホームページ掲載場所

町政情報

↓  
町議会議

↓  
一般質問(録画)



樋口正訓議員

## 問 道路改良後の交差点の安全対策は

## 答 信号機と横断歩道を設置する

**問** 町道大柵大久保線の道路改良に伴う交差点の安全対策は。

**土木整備課長** 交差点部分の安全対策として、信号機および横断歩道の設置を予定している。県警交通規制課と協議を進める。

**問** 廃軌道の交差点が近くにあるため、信号待ちの影響を受けやすく渋滞も予想される。富士川病院西交差点で活用されているラウンドアバウト環状交差点方式の導入が効果的では。

**土木整備課長** この交差点をラウンドアバウトに構造を変更して対応することは可能であるが、現段階では設計変更や、施工済部分の改良が必要となるため困難であり、設計どおり信号機を設置することで警察と協議を進める。

**問** 現在は通学路に指定されていないが、子どもたちと歩行者に対して安全確保の対応は。

**土木整備課長** 町道大柵大久

保線および金手小林線に横断歩道の設置が考えられるが、警察との協議で現状では必要ないと判断された。しかし供用開始までは時間がかかるため、交差点に注意を促す看板の設置で歩行者の安全を図る。

**問** 今年度施工済み区間に歩道が未設置である。地域からは歩道の設置を早期に要望する声が多い。歩道の設置計画は。

**土木整備課長** 町道大柵大久保線道路改良計画では、全線にわたり上下線に歩道を設置する。改良中の工事区間では、直線部分で、水路を含めた歩道の幅員は2メートルを計画している。

**問** 今年度工事は終了しているが、段差のある部分や道路境界沿いをバリケードで囲い、道路範囲を明確にして立入禁止にするなど、第三者の安全に配慮が必要では。

**土木整備課長** 新たに設置した水路と道路用地の間に段差があることや、既設の道路と

道路用地の間に段差があることは承知している。今後必要に応じて、バリケードなどの安全対策を図る。

**問** この路線の今後の道路改良計画予定は。

**土木整備課長** 町道金手小林

線から西側の町道天神中條長沢1号線までの詳細設計は終了している。それ以降は路線の線形や用地を買収する範囲など確定できていない状況であり、今後の道路改良工事を実施できる時期については未定である。



交差点の安全対策を（町道大柵大久保線）



秋山 稔 議員

## 問 未耐震避難所の今後の対策は

## 答 指定避難所の分類を明記したい

**問** 土砂災害警戒区域内での避難所や未耐震避難所が県内で最も多い。今後の対策は。防災交通課長 各地区などが所有する避難所は「コミュニティ助成事業」、町の「地域コミュニティ施設整備費貸付制度」を活用し、施設の耐震化に取り組んでいただきたい。今年度地域防災計画の改定に伴い、地震や風水害など災害種別による指定避難所の分類を明記したい。

**問** 状況により車中避難や自宅避難が多くなると想定できる。避難所以外の対策は。防災交通課長 車両を利用した避難者は、指定避難所である学校施設などのグラウンドを考えている。

### 「支援カード等」の管理・守秘義務について

**問** 「支援カード等」の管理と守秘義務について、どのような説明を行っているのか。福祉保健課長 災害時には適切で円滑な対応が行えるよう、

管理している。年に一度、住所異動などの更新を行い関係者に提供している。回収は区長を通じて行っている。守秘義務に基づいて個々に管理されていると判断している。

**問** 守秘義務は当然、守らなければならぬ。「支援関係

者等」とは誓約書のような書面を交わしているのか。

福祉保健課長 文書での取り交わしは行っていないが、取り扱いには十分な注意をお願いしている。大切な情報であるので、要綱に基づき再度名簿の適正な管理、守秘義務の周知を行い、情報管理の徹底

に努める。

**問** 「支援カード等」に同意を得ていない方々の安否確認や誘導についての取り組みは。福祉保健課長 要支援者等は通常業務で把握している。名簿やデータは災害時に消防や警察から情報提供を求められた際、提供できるようにしている。

**問** 災害時には同意の有無にかかわらず、情報を支援関係者に提供するとある。支援関係者とは情報の取り扱いについて、打ち合わせは済んでいるのか。福祉保健課長 細かな打ち合わせなどはしていない。関係機関との調整も必要である。今後検討が必要であると考えている。

**問** 手助けを必要な方には、近所の住民に依頼する取り組みが最も大切であるが。福祉保健課長 日頃から地域での支え合いのため名簿の活用をする声掛けを行っている。



土砂災害警戒区域・未耐震避難所



菅本 壽彦 議員

**問** 宿泊施設4棟は地区からの要望か

**答** 最大限の4棟で合意

**問** 平林の増穂西小学校跡地に計画の、農村文化農業体験宿泊施設利用者数の調査方法と見込みは。

**産業振興課長** 見込み調査は特に行っていないが、棚田オーナー制度や農業体験利用者数と平林地区の観光入込客数を参考に、令和4年度は年間約400人、令和5年度は約600人を見込んでいる。

**問** 平林の増穂ふるさと自然塾には、コテージ2棟とテントスペースも大きくあるが現状の年間使用料が200万にも満たない。コテージの宿泊稼働率が約20%だが、計画中の宿泊施設の稼働率も非常に危ぶまれるが。

**産業振興課長** ふるさと自然塾は森林や自然と触れ合いの場を目的に整備した。農業体験宿泊施設は、農業体験や棚田オーナー制度の利用者が数日間平林に滞在できるように整備するもので、ふるさと自然塾とは目的や利用形態が違うので比較はできない。

**問** 町長が平林地区からの要望があつて宿泊施設を整備すると答弁したが、平屋の4棟との要望があつたのか。

**町長** 10年以上前、西小学校存在時から、ぜひ宿泊施設をという要望があつた。敷地に限りがあり駐車場も必要だ。平林の発展を考え、最大限の4棟の規模で合意に達した。



解体後整地された西小学校跡地

**問** この事業は校舎の解体関連費用が約2170万円、設計業務委託520万。今回の建設の予定価格は8288万円、総額1億1千万円にもなる大事業だ。平屋の4棟を含む8288万円の内訳は。

**産業振興課長** 詳細は確定していないが、国の補助金を活用する予定で、宿泊施設は補助基準額の1㎡当たり29万円、1棟当たり約50㎡のものを4棟で5800万円。屋外トイレ・手洗い場700余万円、外構工事600余万円に、資材高騰を考慮した金額の予算である。

**問** 稼働後の運営費、維持費などの見込額は。

**産業振興課長** 人件費、消耗品費、光熱水費、保守管理費、通信料などで、利用者600人規模で年間経費を約300万円を見込んでいる。

**問** 多くの宿泊施設が苦境にある現状で運営管理計画は。

**産業振興課長** 管理・運営は、平林活性化組合と協議をして平林交流の里「みさき耕舎」と連携を考えている。

**問** みさき耕舎、ふるさと自然塾のホームページは見づらくて魅力が伝わらないが。

**町長** 役場には精通した職員もいる。今後は、すべてチェックできることを作りながら最新情報に切り替える。



小林有紀子 議員

# 問 奨学金返済の肩代わり支援は

## 答 県の制度の活用を周知

**問** 人口減少対策・若者の移住定住と経済的負担軽減、地域産業の人材確保・若者の経済的負担軽減のため、奨学金の返済を支援する「奨学金返還支援制度」の導入は、**政策秘書課長** 既に本制度を県が導入しているため、県の制度の活用を周知していく。

**問** 県の申請要件では限定的である。県外からのUターン・Iターンなどの若者層への支援が必要。町独自の支援要件を決められるが、**政策秘書課長** この制度を導入する場合は、利用する学生や受け皿となる企業、そして町の3者のニーズを把握した上で、どのような要件を定めるか決定していく。

### 地域共生社会を 目指して

**問** 8050問題など地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため「重層的支援体制整備事業」に取り組む考えは。

**福祉保健課長** 地域共生社会の実現のため、「重層的支援体制整備事業」が創設された。属性を問わない相談支援・参加支援・地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業である。包括的な支援体制は重要であるが、現在、実施の既存事業で包括的な支援を充実させていく。

**問** 地域の空き家や空きスペースなどを活用し、共生社会の実現のための居場所づくりや就労支援を展開できないか。  
**福祉保健課長** 属性や世代を問わない居場所づくりや就労支援に取り組む考えがあるボランティア・NPO・民間企業などの情報を収集し、活動の際には対象者の把握や住民への周知を支援する。

**問** 令和3年度策定の「第3次地域福祉計画」と、社会福祉協議会の「第2次地域福祉活動計画」に反映できないか。  
**福祉保健課長** 包括的支援を念頭に策定する。

### 「避難指示」で全員 避難

**問** 頻発する自然災害に対応して「避難勧告」を廃止し「避難指示」に避難情報が一本化されたが、周知徹底の方法は。  
**防災交通課長** 広報ふじかわで紹介。併せて「我が家のマイトイムライン」を全戸配布。

令和3年5月20日から  
ひなんしじ  
**避難指示で必ず避難**  
ひなんかんこく  
**避難勧告は廃止です**

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	緊急安全確保※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
4	避難指示※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	高齢者等避難※3	避難準備・高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

警戒レベル4までに必ず避難！

避難指示一本化へ (内閣府ホームページから)

**町** 広報誌やホームページ、SNSなどで周知徹底する。

**問** 避難行動要支援者の迅速な避難を図るため、福祉専門職との連携による「個別避難計画」の作成は。  
**福祉保健課長** 専門職、民生委員、自治会と連携し、支援カードの再確認と優先度が高い順から作成する。



秋山 仁 議員

# 問 消防団員の報酬など 処遇改善は

## 答 早急に検討する

**問** 消防団員の定数確保に向けた、さらなる取り組みは。防災交通課長 諸行事の見直しや「消防団サポート事業」、火災および緊急時のみ出動する機能別消防団、女性消防団員制度の創設などの確保対策を行っている。また、団長および副団長が区長会においても、入団に向けた協力依頼を行っている。

**問** 機能別消防団員制度の活動状況は。防災交通課長 消防団員の活動を補完する目的で、火災および緊急時の各種災害へ出動する。本年度の団員は21名である。

**問** 徳島県では、全ての公立学校に防災クラブを設置し、学校現場で地域防災の意識を高めるようにしているが県への働きかけは。防災交通課長 県に情報提供などの働きかけを行う。

**問** 団員の減少原因は。防災交通課長 少子高齢化や

地域コミュニティが希薄になったことなど、さまざまな要因があると考えている。

**問** 団員の報酬、出動手当の増額などの処遇改善は。防災交通課長 県内市町村の

報酬、手当について調査し、改定の動向を見極め、活動実績のない団員の洗い出しと消防組織の再編や、団員定数の見直しをする中で検討する。支給方法も消防団と協議、検討する。



日夜訓練に励む消防団員

### 移住定住の推進 について

**問** 検討見直しをいつまでにするか。防災交通課長 早急に検討する。

**問** 移住定住者のさらなる推進策は。政策秘書課長 町ではプロモーション動画の作成や、空き家バンク制度、定住奨励金補助事業制度などの支援策を講じてきた。空き家バンク制度ではこれまで49世帯、1111人の移住定住に結びつき、一定の成果があった。今後は空き家バンク登録物件増加に向け、所有者に制度の周知をより一層行う。

**問** コーディネーターの配置や、サポートする町民組織設置の考えは。政策秘書課長 あえて設置しなくても、町民全員がコーディネーターの役割を担えるものと考えている。

# 議会だよりに皆さまの声を!

## — 議会広報モニター7人を委嘱 —

委嘱期間は議会だより第48号(令和4年3月議会)までとなります。モニターの皆さまには読みやすくわかりやすい議会だよりになるよう、ご意見をいただきます。1年間よろしくお願いいたします。



保坂 大輔さん



功刀 宏さん



深澤 光広さん



井上 理香さん



磯野 文一さん



太田 弥奈さん



米山 卓さん

## 議員研修・自治功労者表彰

山梨県町村議会議員研修会・自治功労者表彰式が5月31日、甲府市の山梨県自治会館で行われました。

研修会では「町村議会の抱える課題」として、地方議会・議員の在り方、議会改革などについて研修しました。

自治功労者表彰式では、長澤議長が全国町村議会議長会から山梨県町村議会議長会副会長として、特別功労者表彰を受彰しました。



## 広報常任委員会 研修・表彰

山梨県町村議会広報功労者表彰式が7月9日、甲府市の山梨県自治会館で行われました。

議会広報を10年以上かつ40号以上発行し、他の町村の模範と認められる議会として富士川町議会が表彰されました。

当日は、町村議会広報研修会も開催され、「町村議会広報クリニック」として、講師から議会だよりへの評価や紙面づくりのアドバイスを受けました。

今回学んだことを生かし、委員一同「読みやすく親しみやすい議会だより」を目指し取り組んでいきます。



# わが区の自慢!!

●このコーナーでは、各区の誇れるもの、活動などを紹介していきます。

## 菴米区

縄文時代から  
人々が住んでいた!

町内の文化財の2割(国・県指定では3割)が存在する歴史の古い地区。

### 区の概要

人口 744人 男 370人 女 374人  
世帯数 303戸  
(令和3年7月1日現在)

### 町内の文化財

指定	町全体	うち菴米区内	割合(%)	31
国	2	2(重文)	100	
県	11	2	18	
町	41	8	20	
計	54	12	22	

(R3.2.1現在・件数は町HP)

菴米には縄文時代から人々が住んでいた形跡が遺されており、彼ら古代人は生活に最も適合する好条件の地として菴米を選んだものと思われます。

その条件とは、「周囲が開けて小高い」「日あたりが良く水に便利」「広葉樹林に近く食物採集に便利」であることなどがあげられます。さらに時代が下ると「水田耕作の適地」「外敵防備の条件」などが加わってきます。

さて、歴史の古い菴米には多くの文化財が存在し、真言宗の古刹・明王寺(770年創建)には、国重要文化財の「木造薬師如来立像」(写真)と「鰐口」の2点などがあります。県指定のうち、平安末期のものといわれる「泥塔一式」は、県立考古博物館に常設展示されています。町指定では、甲斐源氏の英雄と称され源頼朝に怖れられて誅殺されたといわれる「一条忠頼の墓」が、棚田の広がった高台から今も富士川町を見守っています。  
(菴米区史から)



1100年間、病気を救ってきた木造薬師如来立像(国重要文化財)

## 中部区

虎王丸  
プロジェクト

～地域が元気になるきっかけになれば～

### 区の概要

人口 406人 男 200人 女 206人  
世帯数 219戸  
(令和3年7月1日現在)

中部区は、町の名ともなった“富士川”のほとりに点在する主に5つの集落、長知沢、国見平、鬼島、箱原、鹿島から形成されています。町の最も南に位置する中山間地域です。

平成24年度に、町の総合計画づくりの「寄り合いワークショップ」が開かれ、地域の課題解決に向けた取り組みが始まりました。平成26年4月には、『虎王丸プロジェクト』が発足しました。この虎王丸とは、箱原の本能寺にある「一石五輪塔」が、虎王丸を手厚く葬ったとされる故事に由来しています。

活動内容は、「区の活性化」「区内の遊休農地の活用」「区民と区内事業所との社会福祉活動」「区のPR」を目的としています。

当初50人の会員で活動は始まり、現在、町外・県外などの会員が増え70人となりました。植え付け作業や収穫など地元の人を中心に、活動しており、地域の会員などまだまだ増やしていきたいところです。

遊休農地でさつま芋(コガネセンガン)を栽培して、芋焼酎「虎王丸」や「鰐の里」を完成させています。その一方で、安納芋や紅はるかを栽培し、町内の保育所や小中学校にお届けしたり、区内にある「くにみ園」や「ふじかわ分校」に芋掘り体験の場を提供したりして、交流を深めています。

7年目を迎えたところでありますが、地元の芋を使った焼酎「虎王丸」「鰐の里」が、地域の特産品として知名度を上げ、さらにほ場での社会福祉活動を通して、“地域が元気になるきっかけになれば”と願い活動しています。



「くにみ園」の人たちによる芋の苗さし体験作業(4月)